

学術企画

日本放射線カウンセリング学会, JART 医療被ばく安全管理委員会, JSRT 放射線防護委員会 『患者さんから声をかけられた その時あなたはど...』

司会 群馬県立県民健康科学大学 五十嵐 博
司会 筑波大学 森 祐太郎

11月2日(土)
16:40~18:00
第2会場

- ①被ばく相談を受ける際に必要なスキルとは
東京メディカルクリニック 荒木 智一
- ②必要なスキル①「準備・専門知識」
東千葉メディカルセンター 伊藤 肇
- ③必要なスキル②「傾聴」
大阪ハイテクノロジー専門学校 小松 裕司
- ④必要なスキル③「話し方・伝え方」
神戸常盤大学 木村 英理

近年、医療被ばくに対する患者さんの不安について、積極的に対応することが求められています。医療被ばくに関する主な相談内容には、妊娠に関連すること、子どもの放射線検査、そして短期間での繰り返し検査や多部位にわたる検査による影響などが挙げられます。しかし、患者さんが抱く不安には同じものではなく、患者さんの個性や背景などによって異なり、感じ方も受け止め方もそれぞれです。そのため、患者さんが具体的に何に対して不安を感じているのかを明確にし、患者さんの心に寄り添いながら、科学的根拠に基づいた正しい情報をわかりやすく伝えるスキルが必要となってきます。

本シンポジウムでは、日本放射線カウンセリング学会、JART放射線被ばく相談員分科会、JSRT放射線防護委員会、JSRT放射線防護部会の4団体より、不安を抱えている患者さんから声をかけられた時に必要なスキルについて解説いたします。

また、ご参加いただいた皆様からの質問やご意見を伺いながら、よりよい対応について共に考えていきたいと思っております。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。



JART 人材育成委員会 『人材育成におけるマネジメントラダーの活用について』

11月2日(土)
17:10~18:00
第3会場

司会 純真学園大学 中村 泰彦
司会 東洋公衆衛生学院 加藤 京一

- ①日本診療放射線技師会のマネジメントラダーについて
純真学園大学 中村 泰彦
- ②大学病院におけるラダーの活用方法について
東洋公衆衛生学院 加藤 京一
- ③民間病院におけるラダーの活用方法について
高浜豊田病院 前田 佳彦

日本診療放射線技師会では平成15年に技師格(アドバンス, シニア, マスター診療放射線技師)を中心とした生涯教育システムを発足いたしました。それから長い年月が経ち、将来に向けての継続教育のために新生涯教育システムを構築いたしました。この新生涯教育システムはクリニカルラダーとマネジメントラダーからなり、診療放射線技師としての一定水準以上の知識技能に維持が担保でき、専門業務に特化せずに放射線診療業務全般を扱うことができ、業務能力の可視化ができるように客観的評価基準としました。

今回は管理職業務の教育システムとしてのマネジメントラダーについて解説し、その活用について報告していただき、診療放射線技師のキャリアアップイメージを理解していただきたいと思います。



JART 放射線治療分科会, JSRT 放射線治療部会 『IGRTの一次照合の取り組み -実践能力を高める-』

司会 都島放射線科クリニック 辰己 大作
司会 自治医科大学附属病院 根本 幹央

11月3日(日)
10:00~11:50
第1会場

- ①IGRTの一次照合を理解する
多根総合病院 川守田 龍
- ②一次照合能力の向上に向けたJJの取り組み
都島放射線科クリニック 辰己 大作
- ③IGRTの一次照合のスキルアップ
パネルディスカッション
栃木県立がんセンター 伊藤 憲一
- 司会 近畿大学病院 松本 賢治
司会 京都府立医科大学附属病院 太田 誠一
- ①実臨床で遭遇したIGRTのピットフォール(転移性脳腫瘍と食道がんを例に)
広島平和クリニック 小野 薫
- ②SGRT装置のメリットとデメリット
手稲溪仁会病院 佐々木 文博
- ③IGRT教育における位置照合と提案能力の養成:課題と解決策
徳島大学大学院 佐々木 幹治
- ④施設プロトコルの作成
茨城県立中央病院 篠田 和哉

本企画は、JART放射線治療分科会とJSRT放射線治療部会の合同企画で、IGRTの一次照合をテーマに、一次照合を理解し、その能力を高めることを目的としています。タスク・シフト/シェアにより、IGRTの一次照合が診療放射線技師の実施可能な業務として明文化され、診療放射線技師に求められる知識・責任が益々大きくなっています。これを受けて、JJの放射線治療チームが、叢書40の発刊やIGRTに関する教育ガイダンスの整備など一丸となって、教育体制の構築に取り組んできました。本企画では、一次照合の理解からスキルアップを目指す内容までを盛り込んでお届けします。パネルディスカッションも企画していますので楽しみに！

また、本企画と合わせて教育講演も開催されます。教育講演では琉球大学病院の有賀拓郎先生に、「みんなで考えるIGRT」として、一次照合に向けて、医師サイドから技師サイドに求めるものは何か?についてご意見を頂く予定です。みんなでIGRTについて考え、学びたいと思います。皆様と沖縄でお会いできるのを楽しみにしています！



日本放射線公衆安全学会, JSRT 放射線関係法令委員会 『放射線管理人材の育成』

11月3日(日)
10:00~11:50
第5会場

司会 甲府共立病院 佐藤 洋一
司会 日本赤十字社 和歌山医療センター 荒井 一正
司会 駒澤大学 平木 仁史

- ①放射線業務従事者の管理を国際原子力機関はどう規定しているか?
国立保健医療科学院 山口 一郎
- ②海外での放射線作業者の被ばく管理の一元管理の事例紹介
九州大学 藤淵 俊王
- ③放射線診療従事者管理の現状と課題
東京都庁 小林 剛
- ④病院の職業被ばく管理や放射線管理人材育成の課題
さいたま赤十字病院 北山 早苗
- ⑤若手の放射線管理の実践
上尾中央総合病院 茂木 大哉
- ⑥施設の職業被ばく管理体制をどうするか
上尾中央総合病院 佐々木 健

皆さん、職業被ばく管理の効率的かつ有効的な実践や放射線管理を担う人材育成などについて漠然とした不安や悩みをお持ちではないでしょうか?この企画では講演はもちろんのこと総合討論の場に自施設の課題なども持ち寄るなどしてお集まりいただいた皆さんと探求を深め明日からの実践の種を持ち帰っていただくことを趣旨としています。講演は「課題解決のためのヒント」として前半を日本放射線技術学会関係法令委員会が担当し、職業被ばくに関する国際原子力機関など法令等規制の整理や海外の一元管理の実践事例、また我が国における管理の現状と課題等を紹介し、後半を日本放射線公衆安全学会が担当しグローバルな視点からより身近な視点に引き寄せる内容で現場段階での課題や人材育成、若手という立場での放射線管理の実践やそれに対する施設側の体制整備など具体的な実践例を紹介し、是非とも多くの方に本プログラムへの参加をお願いしたいと思います。

